



家畜保健衛生所だより

R7.3.17

△韓国で口蹄疫が発生しました△

2025年3月14日に、1年10ヶ月ぶりに韓国で口蹄疫の発生が確認されました。韓国では口蹄疫ワクチン接種が行われているものの、2019年以降断続的に発生しています。

同国は日本と地理的に近く、人的交流も多いことから、国内へ本病の侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

今一度、農場の衛生管理を見直し、飼養衛生管理基準の遵守徹底を
お願いします！

全羅南道（1件）
3月14日
靈岩郡 牛：1件※（約180頭飼育）



発生予防対策を徹底しましょう!!



- 口蹄疫の発生地域への海外渡航は自粛を
- 外国人従業員を受け入れている施設では、日本への持込みが禁止されている肉製品等が持ち込まれることのないよう、当該従業員等への指導の徹底
 - ・国際郵便物等の中に肉製品等を確認した場合は直ちに動物検疫所に連絡を。
- 衛生管理区域及び畜舎内への病原体の侵入防止対策の徹底
 - ・看板を設置し、必要のない人の立ち入りや、不要物の持ち込みを防ぐ。
 - ・野生動物の侵入防止のため、防護柵・防鳥ネット等について定期的な点検・修繕を行う。
- 家畜の毎日の健康観察を行い、異状の早期発見・早期通報を
 - ・発熱や食欲不振、泡状のよだれを流したり、口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）ができるのが特徴です。



中予家畜保健衛生所 TEL 089-990-1333

携帯 090-6282-6129（夜間・休日）

少しでも異状を確認したら、ためらわずに直ちに家保へ通報をお願いします！

韓国で口蹄疫が発生！

今一度、発生予防を徹底しましょう！

韓国では、2025年3月に1年10ヶ月ぶりに口蹄疫の発生が確認されました。現在、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

韓国における口蹄疫の発生報告状況（2025年3月14日時点）



牛農家の皆様へ 発生予防の徹底をお願いします！

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- 農場の出入り時は、**専用の靴・衣服を着用し、手指を消毒**するとともに、持ち込む**物品や出入りする車両の消毒を徹底**しましょう。
- 畜舎の出入口に**専用の靴の着用や踏込消毒槽等を設置**することにより、出入りする人の**靴底の消毒を徹底**しましょう。
- 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これらの国からの**郵便物等は衛生管理区域に持ち込まない**ようになります。
- 毎日、飼養家畜の**健康観察**を行い、**疑わしい症状があれば直ぐに通報**しましょう。



裏面も
チェック！

専用の衣服・靴等の着用や効果的な消毒を実施しましょう！

- 衛生管理区域に立ち入る場合には、専用の靴や衣服を着用し、手指消毒を実施しましょう。
- 畜舎ごとに専用の靴または踏込消毒を設置し、使用しましょう。



専用の服や靴の使用、手指消毒

◎効果的な消毒のポイント

- 踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れるので、まずは汚れを落としてから消毒しましょう。また、消毒薬が汚れていたら、直ちに交換しましょう。
- 農場に出入りする車両を消毒する時は、タイヤのみを消毒するのではなく、泥よけの内側部分まで消毒し、衛生管理区域内で降車する場合は農場専用のフロアマット等の使用や車内（ハンドルやドアノブ等）の消毒を実施しましょう。



汚れをしっかり落としてから消毒



車両はタイヤだけでなく、泥よけの内側まで消毒し、フロアマットの交換やペダル等車内も消毒

《要注意》

- 逆性石けんやアルコールは口蹄疫の消毒薬としては不適です！
- 消毒効果が弱まるので、酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しないこと！

疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に泡状のよだれを流したり、口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）ができるのが特徴です。

～牛の症状～

写真：宮崎県提供



<A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

写真：動物衛生研究部門提供



毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに獣医師や最寄りの家畜保健衛生所に連絡しましょう。

牛では、1頭のみに着目せず、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に拡がるなど、群としての異状の有無を確認することが重要です。

連絡先：

最寄りの家畜保健衛生所の連絡先を記入しておきましょう！

韓国で口蹄疫が発生！

今一度、発生予防を徹底しましょう！

韓国では、2025年3月に1年10ヶ月ぶりに口蹄疫の発生が確認されました。現在、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

韓国における口蹄疫の発生報告状況（2025年3月14日時点）



豚農家の皆様へ 発生予防の徹底をお願いします！

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- 農場の出入り時は、**専用の靴・衣服を着用し、手指を消毒**するとともに、持ち込む**物品や出入りする車両の消毒を徹底**しましょう。
- 畜舎の出入り時は、**専用の靴・衣服※を着用し、手指を消毒**するとともに、飼養管理で使用する**物品は定期的に消毒**しましょう。
※ 大臣指定地域に限る。
- 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これらの国からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まないようにしましょう。
- 毎日、飼養家畜の健康観察を行い、**疑わしい症状があれば直ぐに通報**しましょう。



裏面も
チェック！



専用の衣服・靴等の着用や効果的な消毒を実施しましょう！

- 衛生管理区域に立ち入る場合には、専用の靴や衣服を着用し、手指消毒を実施しましょう。
- 畜舎ごとに専用の靴・衣服※を着用し、手指消毒を実施しましょう。
※大臣指定地域に限る。



専用の服や靴の使用、手指消毒

◎効果的な消毒のポイント

- 靴や衣服が汚れた時には、洗浄・消毒しましょう。踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れるので、まずは汚れを落としてから消毒しましょう。また、消毒液が汚れていたら、直ちに交換しましょう。
- 農場に出入りする車両を消毒する時は、タイヤのみを消毒するのではなく、泥よけの内側部分まで消毒し、衛生管理区域内で降車する場合に農場専用のフロアマット等の使用や車内（ハンドルやドアノブ等）の消毒を実施しましょう。



汚れをしっかり落としてから消毒



車両はタイヤだけでなく、泥よけの内側まで消毒し、フロアマットの交換やペダル等車内も消毒

《要注意》

- 逆性石けんやアルコールは口蹄疫の消毒薬としては不適です！
- 消毒効果が弱まるので、酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しないこと！

疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に泡状のよだれを流したり、口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）ができるのが特徴です。

～豚の症状～

写真：宮崎県提供



<A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

写真：動物衛生研究部門提供



接種4日目



毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに獣医師や最寄りの家畜保健衛生所に連絡しましょう。

連絡先：

最寄りの家畜保健衛生所の連絡先を記入しておきましょう！